

平成 30 年度 近畿納税貯蓄組合総連合会会長賞

夢をかなえる税

青翔中学校 三年 大家 衣穂理

「青翔、それは夢への第一歩」

私を通う中学校の校門の横に、この言葉が書かれた大看板が掲げられています。奈良県初の県立中高一貫校で、高校はスーパーサイエンスハイスクールに指定いただいています。科学部に所属する生徒が多く、また様々なコンテストにも積極的に参加でき、充実した学校生活を送っています。中高六年間で学んだことを生かして、将来は理数に関わる職業につきたいと考えている友だちもたくさんいます。その私たちの生活を支えてくれているのが税金です。そして私たちの将来の夢を育ててくれているのも税金です。

「夢」は、みなそれぞれ違うと思います。

難病に苦しんでいる方にとって、I P S細胞の研究がもっと進み、再生医療が実用化されて治療を受けたい、そして健康な生活を送りたいというのは心からの夢、願いだと思います。その夢のために、I P S細胞をはじめとするライフサイエンス分野に税金が投入されています。また起業の夢を叶えるために、助成金や補助金で応援してくれる制度があります。田舎暮らしの夢を実現させるために定住を目的として市内に住宅取得した人に、奨励金を支給する自治体もあります。

二〇二〇年の東京オリンピック出場を夢にしている選手も多いと思います。ここにも、税金が使われています。

例を挙げていくと限りがないほど、「夢」を実現するために税金が使われています。私はこれが税金のあるべき姿だと思っています。

「税金は私たちの夢を叶えてくれる」そういった未来への希望にあふれた、生きたお金の使い方をすることによって、気持ちよく納得して納税できます。税金で一人でも多くの人の夢を応援し、応援してもらった人は受けた応援を納税で恩返しするという、とても温かい循環ができます。

私の夢はまだ模索中ですが、どんな夢であっても必ず私のために使ってくれる税金があります。税金を払ってくださった国民の方々に感謝をし、私も将来、色んな人の夢を叶えるための税金をしっかり納めたいです。